【団　　体】
木質土木構造物研究会（能代市）

【タイトル】
「秋田スギでつくる木製ダムで治山防災と温暖化防止に貢献」
～秋田スギの木製ダムで CO2 ダイエット～

【活動概要】
　木質土木構造物研究会は、文部科学省産学官連携都市エリア事業を活用し、平成 18 年から県立大学やコンサルタント、森林組合、機械メーカーなどと連携して活動を始めた組織で、木製ダムの設計、施工、維持管理に関する技術開発と普及に取り組んでいます。
　正式に研究会を発足する以前（平成 13 年度～）から、殆どのメンバーが木製ダムの開発に関わっており、全国でも秋田県独自の技術でありスギ材だけでつくるオールウッドタイプ（台形型）は、平成 13 年度から平成 19 年度までに 16 基を設置しています。今後は、全県域において毎年木製ダムを（８基）を計画することで、地域の防災事業の促進や CO２削減を進めていく予定です。
　木材は軽量で取扱や運搬・加工等が容易なため、製作に係る期間等が大幅に短縮でき、通常のコンクリートダムに比べ生産・加工に伴う CO２等の排出量も大幅に削減できます。
　また、渓床の動植物にもたいへん優しい工法であり、地域の木材を活用することにより地産地消の促進を図っています。
　加え、すべての材料をスギ材だけでつくるオールウッドタイプ、現在開発中である鋼材と小径木間伐材を組み合わせたハイブリッドタイプの木製治山ダムは、全国でも秋田県唯一の取り組みであること、簡易な工法であるためマニュアル化が容易で全国への広がり（それぞれの地域の木材で使用可能）が期待できます。

出典：秋田県地球温暖化防止活動推進センター

【問い合わせ先】
秋田県地球温暖化防止活動推進センター　　ＴＥＬ　018-839-8309
http://www.eco-akita.org/onsen